

○変更登記における主な事項と登記期間について

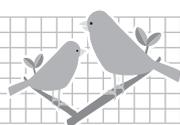
(1) 定款変更を伴わない場合

登記の種類・主な添付書類	登記期間
①代表理事の変更(重任含む) ・総会議事録 ・理事会議事録	変更のあった日から2週間以内
②出資金の変更 ・出資の総口数及び払込済出資総額の変更を証する監事の証明書	当該事業年度終了の日から4週間以内又は変更のあった日から2週間以内
③事務所所在地の変更 ・理事会議事録	移転の日から2週間以内

(2) 定款変更を伴う場合

登記の種類・主な添付書類	登記期間
①名称、地区又は事業の変更 ・定款変更認可書 ・総会議事録	定款変更認可書到達の日から2週間以内
②事務所所在地の変更 ・定款変更認可書 ・総会議事録 ・理事会議事録	移転の日から2週間以内

話題の広場



中央会事業より

組合と企業による新たな連携を支援 ～組合連携コーディネート事業～

本会では、会員組合が他の組合や企業等と連携し、経営資源を相互に補完することで販路拡大や新商品開発等を実現することを目的に「組合連携コーディネート事業」を実施しましたので、その取組についてご紹介します。

企業組合みんなのやさい畑(秋田市)



秋田印刷製本株式会社(秋田市)

企業組合みんなのやさい畑(中川兼喜理事長)は、秋田駅構内1階フロアに販売店舗を構え、通勤客や県外観光客をターゲットに生鮮野菜や土産品などの県産品を販売しています。同組合の課題は、2階フロアにおいて集積販売されている県内銘菓商品との差別化であり、「ここでしか買えない」商品を多く発掘し取り扱いたいと考えていました。

そこで本会が、同組合が特徴ある商品を有する県内企業との連携を実現し、売り場の活性化と県産品の新商品プロモーションを効果的に行うための連携コーディネート支援を行いました。

コーディネーターに県産品販売サイトを運営する株式会社ツバサ(秋田市)の斎藤真氏を招き、連携先に農産加工品のプロデュースを行う秋田印刷製本株式会社(秋田市)を選定、3者による販売戦略会議を経て、新たな誘客策として連携企業の県産品を取り扱う特設コーナーを試験的に開設しました。

組合が持つ「秋田駅構内売り場」と企業が持つ「新しい商材」という経営資源をお互いに提供してできた『特設コーナー』は、来客数の増加と新商品の認知度向上の役割を担い、

連携企業にとっての販路拡大と商品改良に向けた実践の場となります。競争力強化に向けたパッケージデザインの改良などについては、連携した秋田印刷製本株式会社に協力を仰ぎながら、今後は新商品のテストマーケティングが常時実施できる事業スキームの確立を目指しています。

この取組について、中川理事長は「商品の差別化により売り場の魅力アップに繋げることが第一と考えるが、それ以上に、熱意をもって一生懸命頑張っている県内企業を応援したいという想いが根底にある。特設コーナーを上手く活用しながら、将来秋田を代表するような県産品が多く誕生することを願っている」と話しています。



【特設コーナー】

トータルサポートアドバイザー事業を活用しませんか

本会では、組合及び組合員の抱える経営課題の解決に向けた「トータルサポートアドバイザー事業」を実施しており、平成29年度も経営革新計画の策定など1組合4企業にご活用いただきました（取組内容については以下参照）。今年度も同事業を実施しておりますので、是非ご活用ください。

■仙北中央自動車協業組合(大仙市) 【サービス業(自動車整備)】

当組合では、指定工場として車検整備を行っています。人員の減少により生産性向上の取組が急務となっていました。

そこで、従業員の個々の負担を減らすため、人材の効率配置と育成に取り組み、整備情報提供システムの導入を目指した経営力向上計画の策定を行いました。

経営力向上計画
平成29年6月東北運輸局認定

■秋田ファイブワン工業株式会社(秋田市) 【製造業(繊維工業)】

今後予測される高級品の更なる多品種少量化・短納期化に対応するため、設備導入による生産性向上と後継者育成のための経営力向上計画の策定と、独自製品開発による新たな販路開拓に向けた経営革新計画の策定を行いました。

経営力向上計画
平成30年1月東北経済産業局認定
経営革新計画
平成30年3月秋田県知事承認

■千代田興業株式会社(秋田市) 【製造業(鉄鋼・金属)】

AIを活用した先端設備導入により、作業の効率化や品質・精度の向上、付加価値の向上による企業競争力の強化を図りながら、残業時間の短縮や休日の増加など、働き方改革を推進するための経営革新計画の策定を行いました。

経営革新計画
平成30年3月秋田県知事承認

■株式会社川口屋(秋田市) 【製造業(食料品)】

これまで人手と熟練に頼っていた生産工程の一部を機械化し自動化することで、生産効率を向上させるとともに、設備稼働状況の「見える化」や蓄積データ活用によるコスト管理を徹底するための経営力向上計画の策定を行いました。

経営力向上計画
平成30年2月東北農政局認定



【専門家によるアドバイス】

■有限会社伊藤漬物本舗(湯沢市) 【製造業(食料品)】

いぶりがっこの加工品に対する需要が拡大しており、既存の製造体制では生産が追いつかない状況であることから、設備投資による生産性向上と利益率の向上を目指した経営革新計画の策定を行いました。

経営革新計画
平成30年3月秋田県知事承認

「トータルサポートアドバイザー事業」とは

経営上の課題解決を図るため、本会ネットワークを活用した専門家派遣による支援を行います。

- [支援対象] 本会会員組合または会員組合の組合員企業等
[補助率] 10/10
[実施回数] 1回～必要に応じて
[支援内容] ・経営革新計画を策定したい
・農商工連携や地域資源活用に係る事業計画を策定したい
・事業承継計画における経営改善を図りたい など
[問い合わせ先] 本会事業振興部(☎018-863-8701)まで

新理事長紹介

役員改選により、下記の方々が新理事長に選出されましたので、ご紹介します。

湯沢市駅通り商店街協同組合（湯沢市）
理事長 滑川 明男さん

組合員名：ナメカワ時計店
役 職：代表
就 任 日：平成30年3月6日

協同組合大湯温泉観光協会（鹿角市）
理事長 千葉 潤一さん

組合員名：株式会社千葉旅館
役 職：代表取締役
就 任 日：平成30年3月6日

秋田県木材産業協同組合連合会（秋田市）
理事長 大坂 真一さん

組合員名：秋田スギ製材協同組合
役 職：理事長
就 任 日：平成30年3月23日

－会員組合の皆様へ－

本コーナーでは、会員組合の理事長交代について紹介しております。

今後、新しい理事長が選出された場合は、本会総務企画課(☎018-863-8701)までお知らせ下さい。

支援団体活動レポート

佐賀善美氏を会長に再任

4月16日(月)に秋田市の秋田キャッスルホテルにおいて、秋田県アパレル産業振興協議会(佐賀善美会長)の平成30年度通常総会が開催され、会員等28名が出席しました。

総会では、平成29年度事業報告および収支決算が承認されたほか、全号議案が満場一致をもって承認・可決され、任期満了に伴う役員改選では佐賀善美氏(秋田ファイブワン工業株式会社)が会長に再任されました。

総会終了後に開催された懇親会には、本会藤澤会長のほか、秋田県の水澤産業労働部長、工藤地域産業振興課長など多数の来賓を招き、

～秋田県アパレル産業振興協議会～

会員と県内縫製業界の今後の在り方などについて積極的に意見交換するなど、会場は終始盛り上がりを見せました。



[挨拶する佐賀会長]

インフォメーション

労働保険の年度更新手続きは7月10日(火)まで(秋田労働局)

〈労働保険の年度更新手続きについて〉

労働保険(労災保険・労災保険)の保険料は、事業者が年度当初に概算で申告・納付し、翌年度の当初に確定申告のうえ、精算することになっています。平成30年度の申告・納付期間は6月1日(金)から7月10日(火)までです。お早めの手続きをお願いします。

☎詳しくは秋田労働局または厚生労働省のホームページをご覧ください。

◆お問い合わせ先

秋田労働局労働保険徴収室 ☎018-883-4267

秋田労働基準監督署 ☎018-865-4267

能代労働基準監督署 ☎0185-52-6151

大館労働基準監督署 ☎0186-42-4033

横手労働基準監督署 ☎0182-32-3111

大曲労働基準監督署 ☎0187-63-5151

本荘労働基準監督署 ☎0184-22-4124

奨学金返還助成制度に係る 「特定業種」企業認定について (秋田県)

県では、大卒・高卒者等の県内定着の促進に向け、県内企業に就職する新卒者等を対象に、奨学金の返還助成(最大60万円)を行っています。

奨学金返還助成制度では、一定の条件を満たす大学生等が、「特定業種」を営む企業として、県の認定を受けた企業に就職した場合、助成率が10/10まで引き上げられ、認定企業は、県の情報サイトに求人情報や会社概要が掲載されます。

特定業種に該当する組合員企業におかれましては、該当企業に就職する多くの大学生等が奨学金10/10助成を受けられるよう、積極的な申請にご協力をお願いします。

制度に関する詳細や認定企業一覧については、県の就職情報サイト「Kocch A ke ! (こっちゃんけ)」に掲載しておりますので、そちらもご覧ください。

(<https://kocchake.com/pages/grant-description/>)

—お問い合わせ先—

秋田県あきた未来創造部 移住・定住促進課
TEL : 018-860-3751

中小企業組織活動懸賞レポート の募集について (一般財団法人商工総合研究所)

商工総合研究所では、毎年「中小企業懸賞論文」の募集・表彰を実施しております。

受賞者については機関誌「商工金融」平成31年3月号に掲載され、賞金も授与されます。

中小企業の組織活動に携わっている方であればどなたでも応募できます。

詳細については当研究所HPでも確認できますので是非ご覧ください。

(<http://www.shokosoken.or.jp/commendation/>)

—テーマ—

自由(協同組合、商店街振興組合、企業組合、協業組合などの活動報告等)

—応募期間—

平成30年8月1日(水)～10月15日(月)

—お問い合わせ先—

一般財団法人 商工総合研究所
TEL : 03-5875-8907(専用ダイヤル)

中央会職員コラム

本会では、皆様に中央会の職員をより身近に知っていただくため、「中央会職員コラム」を連載しております。どうぞご覧下さい。

本年4月に工業振興課に採用となりました石井と申します。

秋田市に生まれ、子供の頃は竿灯に参加していた時期もありました。大学卒業後は製造業の事務職に就き東京で働くようになりました。以前から連休で帰省する度にやはり緑豊かな秋田は気持ちが良いと思っていました。不思議と水道水もこちらの方が美味しく感じられます。昨年夏には大曲の花火を初めて間近で見てその迫力と美しさに深く感動しました。それより規模は小さくなるものの千秋公園の花火大会もとても綺麗で見て気持ちが良いものでした。

数年前から、どうしてこんなにも人やモノが大都市一極集中しているのか、(自分で選んだ道ですが)なぜ自分は過密地帯の東京で暮らしているのかと思うようになりました。人でも物でも窮屈なところから広々とした所へ移るのが自然で、インターネットを介してメディアや流通が発達した昨今では東京でしか得られない利点は減ってきており、様々な可能性は東京と秋田で大きな差が無く、

むしろ地方の方が伸び代は大きいのではと思うようになりました。そのようにして故郷が恋しくなった私は今年からUターンして秋田へ戻って参りました。

休日はスポーツクラブに行ったり実家のワンコと散歩したり、簡単な料理などを行っています。体を動かすのが好きで、学生の頃はバスケットボールをしていました。最近では3月24日(土)に宮城県の東北風土マラソンのリレーに参加してきました。料理は凝ったものはできませんが、ポテトサラダをよく作っています。また、ギバサが体に良いスーパーフードと聞いて、近々ギバサ料理に挑戦したいとも思っています。

末筆になりますが、会員の皆様や秋田の経済活性化のお役に立てるよう日々精進し職務に邁進していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



[記 工業振興課 主事 石井智之]